

岡崎大学懇話会が取り組む 地域の課題解決 2018!

岡崎市内大学の研究者が地域活性についての研究成果を発表します



第19回地域活性化フォーラム

【日時】 2019年3月9日(土) 13:30~16:30

【会場】 愛知学泉大学・愛知学泉大学短期大学 岡崎学舎

愛知県岡崎市舳越町上川成 28

参加
無料

どなたもお気軽に
ご参加ください

松本町松応寺界隈の防災まちづくり

愛知産業大学 宇野 勇治 准教授

「岡崎の文学」事始め - 岡崎と『万葉集』それから

人間環境大学 花井 しおり 教授

岡崎市の農業被害低減を目指したニホンザルの生態学的基礎調査

人間環境大学 立脇 隆文 講師

額田木材の価値向上に向けた調査研究

岡崎女子短期大学 祝田 学 准教授

岡崎ブランド(おかざき三味)の開発及び普及促進に向けたコンソーシアムの構築に関する共同研究

愛知学泉短期大学 根間 健吉 教授

※発表終了後、交流会(15:55~16:30)を開催します。ぜひご参加ください。

【お問い合わせ】 岡崎大学懇話会事務局 (愛知学泉大学内)

TEL: 0564-34-1212 (代表) FAX: 0564-34-1270 HP: <http://okazaki-dk.com/>

【主催】 岡崎大学懇話会 【後援】 岡崎市 / NPO 法人 21世紀を創る会・みかわ / 岡崎商工会議所

【プログラム】

13:45 ~ 14:05

愛知産業大学 造形学部建築学科 宇野 勇治 准教授 (専門: 建築環境デザイン、伝統建築)

松本町松応寺界隈の防災まちづくり

徳川家康の父、広忠公の菩提寺である松応寺(松本町)は、江戸時代には大いに繁栄しましたが、明治以降縮小を余儀なくされ、戦災により困難な状況ともなりました。近年は、懐かしい風景を活かしたまちづくりも行われています。戦後に建築された木造住宅の過密状態は防災の観点から課題を内包しています。また、崩壊が進行する御廟所の土壌の復原手法についての検討が求めています。本研究では、版築土壌の復原手法の検討、現地調査にもとづく防災対策の基礎調査などを行いました。

14:10 ~ 14:30

人間環境大学 人間環境学部環境科学科 花井 しおり 教授 (専門: 日本文学、万葉集)

「岡崎の文学」事始め - 岡崎と『万葉集』それから

岡崎市の『万葉集』伝承は、平成28年度報告の通り、世界三大美女を思わせる、いわゆる「三題ばなし」となりました。万葉三伝承は、旧額田町の額田王の祖先関係伝承、大友町の大友皇子終焉地伝承、奥山田町の持統天皇のお手植え桜伝承です。長くこの地で伝えられてきた伝承は「岡崎市民の、岡崎市民による、岡崎市民のための」ものといえます。そこで、伝えられてきた伝承をその町に住まう岡崎市民が「語り」、それを聞く岡崎市民が「伝える」という営みについて報告致します。

14:35 ~ 14:55

人間環境大学 人間環境学部環境科学科 立脇 隆文 講師 (専門: 動物生態学、野生動物保全学)

岡崎市の農業被害低減を目指したニホンザルの生態学的基礎調査

愛知県の中でニホンザルの農業被害額が最も高い岡崎市において、ニホンザルの群れに電波発信器を装着し、行動域を調査しました。また、発信器を付けた群れの個体数を調べ、加害レベルを評価しました。加えて、ニホンザルの通報記録や捕獲記録を整理し、これまでよく知られていなかった岡崎市内のニホンザルの群れの配置を推測しました。これらの成果をもとに、今後の岡崎市のニホンザル対策の進め方について検討しました。

15:05 ~ 15:25

岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科 祝田 学 准教授 (専門: 経営史、経営学)

額田木材の価値向上に向けた調査研究

林業の停滞が、この額田地域でも問題となっており、木材利用の推進や木材産業の活性化が求められるだけでなく、人の暮らしへの影響も危惧されています。額田地区では、すでにバイオマスや足湯など木材利用の計画が存在しますが、まだまだ実験段階です。本研究では林業の現場をインタビューを通して調査し、学生へのアンケート調査、他地域の林業活動状況などをもとに、「めかた」ブランドの1つとして木材利用を提案していきたいと思えます。

15:30 ~ 15:50

愛知学泉短期大学 食物栄養学科 根間 健吉 教授 (専門: 公衆栄養)

岡崎ブランド(おかざき三昧)の開発及び普及促進に向けたコンソーシアムの構築に関する共同研究

地産地消及び第六次産業を促進し地域の活性化に繋げることを目的として、八丁味噌、法性寺ねぎ、むらさき麦の3品を同時に使用した創作料理「おかざき三昧」50種類を開発しました。また、活動するための有機的組織として、本学及び道の駅藤川宿、西三河農林水産事務所、岡崎市経済振興部農務課、JA あいち三河など8団体が参加してコンソーシアムを構築しました。今後は市内の飲食店でのメニュー化を図りながら、生産者に対して材料の安定供給を呼びかけていきます。

※発表終了後、交流会(15:55 ~ 16:30)を開催します。ぜひご参加ください。

【会場・アクセス】

愛知学泉大学・愛知学泉短期大学 愛知県岡崎市舳越町上川成 28

●名鉄名古屋本線「東岡崎」駅南口ロータリーよりスクールバス

名鉄「東岡崎」駅▶愛知学泉大学…12:40

愛知学泉大学▶名鉄「東岡崎」駅…16:00/16:40

●名鉄名古屋本線「矢作橋」駅より徒歩 愛知環状鉄道「北岡崎」駅より徒歩

●駐車場あり

【岡崎大学懇話会とは】岡崎大学懇話会は、岡崎市内の大学(愛知学泉大学・愛知学泉短期大学、愛知産業大学・愛知産業大学短期大学、人間環境大学、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学)で構成する組織です。それぞれの大学の学問的特性を活かして、地域と地域産業の活性化を推進することを目的に活動しています。

